

平成27年度一般会計予算は

703億3000万円

平成27年度 一般会計予算を可決

平成27年度一般会計予算は、歳入歳出それぞれ703億3000万円とするものです。

歳出の主なものは、保健・医療・福祉分野では、高齢者を対象とした肺炎球菌ワクチンの定期接種対象者のほかに、70歳以上の未接種の方が予防接種を受けた際にも、費用の一部を助成します。

また、入室児童数の増加が見込まれる、立野放課後児童クラブを増設整備します。

生活・環境分野では、防犯・暴力対策事業として、警察および防犯団体と連携して地域防犯活動を充実し、安心して生活ができる明るく住みよいまちづくりを推進するため、駅周辺に防犯カメラを設置します。

また、現在使用しているアノログの防災行政無線の老朽化および難聴対策のため、デジタル化に更新します。

都市基盤分野では、良好な道路環境維持のため、通学路を含めた既存道路の維持補修・修繕を実施し、交通安全および生活環境の改善を図ります。また、庄和インターチエンジ周辺地区における企業誘致の促進のため、主要道路の整備に向け、用地取得および物件調査等を実施します。

教育・文化分野では、谷原中学校および中野中学校の校舍耐震補強工事を実施します。この中学校の校舍耐震補強工事の完了により、本市の小・中学校校舎、体育館の耐震化率が100パーセントになります。

を提供し、若年者の再就職を支援します。

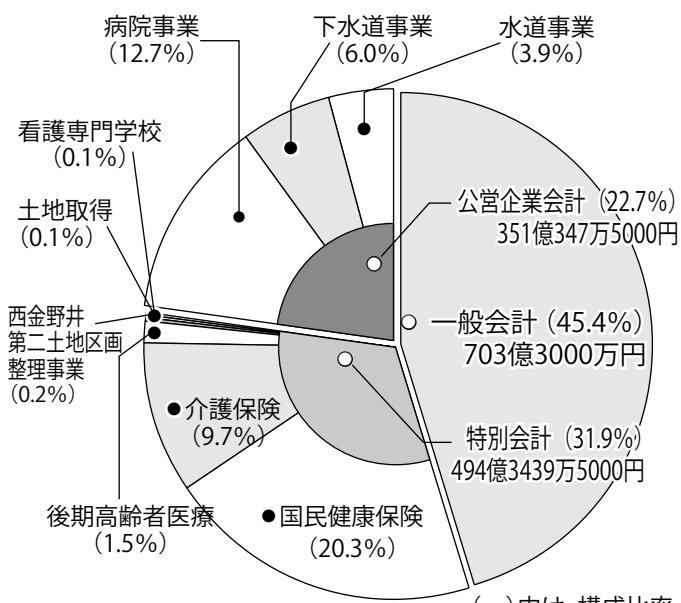
また、農業の振興を図り、地産地消を推進するため、地産の農産物を使った料理教室の開催や、庭先直売所のPRを行います。

このほか、新市施行10周年記念事業として市民の皆さまと共に祝うため、10周年記念式典などの関連イベントの開催、記念DVDの制作、市の歌の制定、市の情報誌「Kasukabe+（かすかべプラス）」の10周年記念号を発行していきます。

歳入では、個人市民税や法人市民税において、雇用・所得環境の改善や、景気の緩やかな回復傾向による企業収益の改善等を見込み、前年度と比較して合計で2億9786万2000円の増額を見込んでいます。

【賛成多数で原案可決】

平成27年度 会計別予算 当初予算総額 1548億6787万円



区 分	予 算 額	増減率 (%)	
一 般 会 計	703億3000万0000円	8.6	
特 別 会 計	国民健康保険	314億2592万1000円	13.5
	介護保険	150億6618万6000円	1.3
	後期高齢者医療	23億4262万1000円	4.1
	西金野井第二土地区画整理事業	2億4897万5000円	8.1
	土地取得	1億8337万1000円	△41.6
	看護専門学校	1億6732万1000円	13.0
公 営 企 業 会 計	病 院 事 業	197億2467万7000円	80.5
	下 水 道 事 業	92億7068万0000円	6.7
	水 道 事 業	61億 811万8000円	5.3
総 額	1548億6787万0000円	14.1	

※増減率は、平成26年度当初予算との比較

※計数については、それぞれ四捨五入しているため、合計で一致しないものがあります。

修正案

歳入では、財政調整基金繰入金と繰越金を増額し、不足する財源を確保します。また、保育料の減額、公民館使用料の無料化分の減額、給食費負担金を減額します。

歳出では以下を修正します。

民生費では、福祉タクシー券や自動車燃料券の支給枚数を増やします。児童発達支援センターの建て替えの調査設計を行います。長寿記念事業では77歳の方に長寿祝い金を贈呈します。国民健康保険等の各特別会計への繰出金を増額し、被保険者の負担軽減を行います。こども医療費の対象を10月から高校卒業まで拡大するほか、おむつ支給事業を新設します。また、児童館設置の調査設計を行います。

商工費では、住宅リフォーム助成事業を新設します。

教育費では、市内小中学校の洋式トイレ化。学校給食費の2人目以降無料化。給食食材の放射性物質検査の機器購入。さらに、市民プール整備の調査設計を行います。

なお、修正総額は22億6339万5000円の増額です。

【賛成少数で否決】

討論

元氣な春日部を取り戻す修正案に賛成（日本共産党）

平成27年度一般会計予算原案について何点か指摘します。

まず、総務費では人口当たりの職員数が少ないため、市民サービスの低下は必至です。非正規職員ではなく、正規職員を増やすべきです。

また、税の催告を委託予定ですが、個人情報保護の点で問題です。

次に、民生費では、ふじ学園が充実されますが、施設の老朽化は深刻です。早急に建て替えるべきです。また、障がい者福祉の抜本的拡充を求めます。

高齢者福祉分野では、敬老会の改善と敬老の気持ちを実感できるように充実を求めます。地域包括ケアシステムの確立と介護予防の充実、市の施策充実で、老後いきいきの市政を実現することを求めます。

子ども子育て新制度は、保育所待機児童の解消をうたっています。地域型保育事業の参入は2施設と、年度末の待機児童の解消にはほど遠く、

認可保育所の増設が必要です。豊春地域、武里地域に児童館を設置し、子育て支援の充実で子育て人口、定住人口を増やす対策を求めます。

農林水産業費では、都市型農業の利点を最大限に生かし、若い生産者が希望を持てる振興策を行うべきです。

商工費では、プレミアム付商品券による地域経済活性化を期待しますが、一過性でない住宅リフォーム助成制度などで、地域経済を元気にする政策を行うべきです。

土木費では、生活道路の改善、歩道の整備が必要です。そして、水害対策として河川の改修、貯留施設の建設など、改善が必要です。春バスは需要が高まっており、増便、運賃引き下げ、そして福祉バスの意味合いも含め、市民要望に沿った充実を求めます。連続立体交差事業は見通しが見えます。子どもが実施したアンケートでの市民要望第一位は、春日部駅の東西自由通路の建設でした。市民の声に向き合い再検討を求めます。

教育費では、トイレの洋式化を進める必要があります。また、武里図書館が指定管理に移行しますが、庄和図書館

も武里図書館も市の責任で充実を図るべきです。そして、公民館は無料に戻し、修繕・改修を行い、充実を求めます。最後に、消防職員が不足しています。国の求める水準を目指しつつ、当面、市の定数まで実人数を増やすべきです。

次に、修正案ですが、国保税等の引き下げで市民負担を減らし、福祉タクシー券・自動車燃料券の倍増、児童発達支援センター建て替えの調査費等、障がい者でも安心して暮らせるまちを目指しています。77歳に2万円のお祝い金の贈呈で、敬老の気持ちをより強く表しています。そして、住宅リフォーム助成制度で地域経済の活性化と同時に、子育て世代に手厚い支援を行い、若い世代の定住人口を増やすことを目指すものです。

22億6千万円の増額予算の財源の大半を財政調整基金から繰り入れますが、人口増と経済活性化で税収を大きく増加させることで、継続的に安定した事業の展開をすることが可能になります。

以上の点から、平成27年度一般会計予算原案に反対し、市民の暮らしを応援し元氣な春日部を取り戻す修正案に賛成

成します。

市民生活をしっかり支え施策を着実に推進する原案に賛成（新政の会）

最初に、原案の平成27年度一般会計予算は、真に必要な行政サービスに対し適切に予算配分するとともに、新市施行10周年の記念事業や、新たなものにチャレンジする事業等による、地域活性化に繋がる事業に、選択と集中により適切に予算配分されています。

まず、保健・医療・福祉分野では、放課後児童クラブの増設整備による子育て家庭に対する支援拡充、高齢者用肺炎球菌ワクチンを任意で接種する際の助成金による健康増進、新市立病院の本体工事を進めることで、保健・医療・福祉の向上を期待します。

生活環境分野では、防災行政無線のデジタル化、避難所へ太陽光発電の設置、消防庁舎の耐震補強、北春日部駅と武里駅周辺に街頭防犯カメラを新たに設置するなど、安心して生活ができるまちづくりが推進されるものと考えます。都市基盤分野では、庄和インター周辺の主要道路整備に對する予算が大幅に増額され、

企業誘致の推進による地域の活性化、担税力の強化に対する姿勢が伺えます。また、生活道路の改修や清掃、橋りょう長寿命化修繕事業の推進等さらなる市民生活の安全が確保されると期待します。

教育・文化分野では、中学校校舎、体育館の耐震工事の完了予定や、普通教室等へのエアコン整備に向けた予算が計上され、児童生徒の学校教育環境の更なる改善が図られるものと評価します。

産業経済分野では、シティセールスアクションプランの具体化やかすかべフードセレクトションを市内外へアピールすることで、市の知名度と都市イメージ向上を期待します。

行財政改革分野では、公共施設マネジメント基本計画の策定に着手し、今後の公共施設と公共サービスの在り方を定めることは、公共施設の老朽化対策を推進する上で、必要不可欠なものです。

以上のとおり、原案については春日部市総合振興計画後期基本計画を推進するために、各種施策の重点事業に優先的に予算配分が行われており、適切な予算であると考えます。次に、修正案については、

歳入では、民間・公立保育所運営費保護者負担金を減額していますが、保育料の適正化の観点からも容認できません。また、公民館使用料を減額していますが、条例のとおり適切に予算計上すべきです。

歳出では、後期高齢者医療介護保険、国民健康保険の各特別会計への繰出金が増額となつていますが、一部の繰出金は、法に定める基準を超えており、単に保険料の軽減での繰出金の増額は適切とは言えず、さらに、国民健康保険特別会計への法定外への繰出金も、その財源について慎重に検討すべきです。

また、災害復旧や不測の事態に対する財政調整基金の残高を考慮しておらず、安定的かつ長期的な財政運営の観点から、市民の皆さまの理解をいただけるものではないと懸念。修正案は、持続可能な財政運営の視点が十分に考慮されていらないと考えます。

今後も、厳しい環境下での市政運営が続くものと考えられますが、引き続き市民生活をしっかりと支え、それぞれの施策を着実に推進していただくことを要望し、修正案に反対し、原案に賛成します。

第1回(2月)臨時会 審議結果

平成27年第1回(2月)臨時会が2月5日(木)に開会されました。

市長提出議案

(○:賛成 ×:反対)

議案番号	議案名 ()は付託委員会名	審議結果	新 政 の 会	新 風 会	公 明 党	日 本 共 産 党	社 会 主 義 党	民 主 党	無 所 属
議案第1号	地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例の制定 (教育環境)	原案可決	○	○	○	×	○	○	○
議案第2号	平成26年度一般会計補正予算(第8号) (各委員会)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○

3月定例会 審議結果

市長提出議案

(○:賛成 ×:反対)

議案番号	議案名 ()は付託委員会名	審議結果	新 政 の 会	新 風 会	公 明 党	日 本 共 産 党	社 会 主 義 党	民 主 党	無 所 属
議案第3号	公共施設マネジメント基本計画策定審議会条例の制定 (総務)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○
議案第4号	PFI事業者選定審査会条例の制定 (総務)	原案可決	○	○	○	×	○	○	○
議案第5号	臨時的任用職員の任用及び給与その他の勤務条件に関する条例の制定 (総務)	原案可決	○	○	○	×	○	○	○
議案第6号	指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準等を定める条例の制定 (厚生福祉)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○
議案第7号	地域包括支援センターの職員に係る基準及び当該職員の員数等を定める条例の制定 (厚生福祉)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○
議案第8号	行政手続条例の一部改正 (総務)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○
議案第9号	行政改革審議会条例の一部改正 (総務)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○
議案第10号	情報公開条例の一部改正 (総務)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○
議案第11号	特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正 (総務・厚生福祉)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○
議案第12号	職員の給与に関する条例及び一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部改正 (総務)	原案可決	○	○	○	×	○	○	○
議案第13号	水道事業企業職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部改正 (建設)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○

市長提出議案

(○:賛成 ×:反対)

議案番号	議 案 名 ()は付託委員会名	審議結果	新 政 の 会	新 風 会	公 明 党	日 本 共 産 党	社 会 民 主 党	民 主 党	無 所 属
議案第 14 号	病院事業企業職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部改正 (厚生福祉)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○
議案第 15 号	手数料条例の一部改正 (建設・教育環境)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○
議案第 16 号	市立ふじ学園条例の一部改正 (厚生福祉)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○
議案第 17 号	介護保険条例の一部改正 (厚生福祉)	原案可決	○	○	○	×	○	○	○
議案第 18 号	地域包括支援センター運営等協議会条例の一部改正 (厚生福祉)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○
議案第 19 号	指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正 (厚生福祉)	原案可決	○	○	○	×	○	○	○
議案第 20 号	指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部改正 (厚生福祉)	原案可決	○	○	○	×	○	○	○
議案第 21 号	国民健康保険条例の一部改正 (厚生福祉)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○
議案第 22 号	国民健康保険税条例等の一部改正 (厚生福祉)	原案可決	○	○	○	×	○	○	○
議案第 23 号	市立図書館条例の一部改正 (教育環境)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○
議案第 24 号	(仮称)市立第1・第2統合保育所建築工事請負契約の議決内容の一部変更 (厚生福祉)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○
議案第 25 号	区画街路1号線道路改良(H26-1)工事請負契約の議決内容の一部変更 (建設)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○
議案第 26 号	さいたま市の公の施設の利用に関する協議 (建設)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○
議案第 27 号	市道路線の認定 (建設)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○
議案第 28 号	市道路線の廃止 (建設)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○
議案第 29 号	平成26年度一般会計補正予算(第9号) (各委員会)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○
議案第 30 号	平成26年度国民健康保険特別会計補正予算(第3号) (厚生福祉)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○
議案第 31 号	平成26年度後期高齢者医療特別会計補正予算(第3号) (厚生福祉)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○
議案第 32 号	平成26年度介護保険特別会計補正予算(第3号) (厚生福祉)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○
議案第 33 号	平成26年度春日部都市計画事業西金野井第二土地区画整理事業特別会計補正予算(第2号) (建設)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○
議案第 34 号	平成26年度市立看護専門学校特別会計補正予算(第3号) (厚生福祉)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○
議案第 35 号	平成26年度下水道事業会計補正予算(第2号) (建設)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○
議案第 36 号	平成27年度一般会計予算 (各委員会)	原案可決	○	○	○	×	○	○	○
議案第 37 号	平成27年度国民健康保険特別会計予算 (厚生福祉)	原案可決	○	○	○	×	○	○	○
議案第 38 号	平成27年度後期高齢者医療特別会計予算 (厚生福祉)	原案可決	○	○	○	×	○	○	○
議案第 39 号	平成27年度介護保険特別会計予算 (厚生福祉)	原案可決	○	○	○	×	○	○	○
議案第 40 号	平成27年度土地取得特別会計予算 (総務)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○
議案第 41 号	平成27年度春日部都市計画事業西金野井第二土地区画整理事業特別会計予算 (建設)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○
議案第 42 号	平成27年度市立看護専門学校特別会計予算 (厚生福祉)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○
議案第 43 号	平成27年度水道事業会計予算 (建設)	原案可決	○	○	○	×	○	○	○
議案第 44 号	平成27年度病院事業会計予算 (厚生福祉)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○
議案第 45 号	平成27年度下水道事業会計予算 (建設)	原案可決	○	○	○	×	○	○	○
議案第 46 号	教育委員会教育長の選任につき同意を求める (付託省略)	同 意	○	○	○	○	○	○	○
議案第 47 号	副市長の選任につき同意を求める (付託省略)	同 意	○	○	○	×	○	○	○

議員提出議案

(○:賛成 ×:反対 -:退席)

議第 1 号議案	議会政務活動費の交付に関する条例の一部改正 (付託省略)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○
議第 2 号議案	議会委員会条例の一部改正 (付託省略)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○
議第 3 号議案	沖縄県民の総意を尊重し、辺野古への基地建設を断念するよう求める意見書 (付託省略)	否 決	×	×	×	○	○	×	×
議第 4 号議案	「残業代ゼロ」制度の導入に反対する意見書 (付託省略)	否 決	×	×	×	○	○	○	×
議第 5 号議案	企業・団体献金の禁止と政党助成金の廃止を求める意見書 (付託省略)	否 決	×	×	×	○	×	×	×
議第 6 号議案	「自衛隊海外派兵法」制定の中止を求める意見書 (付託省略)	否 決	×	×	×	○	○	×	×

請 願

(○:賛成 ×:反対)

平成26年 請願第 17 号	慰安婦問題に関する適切な対応を求める意見書を国に提出を求める請願 (総務)	不 採 択	×	×	×	×	×	×	○
請願第 1 号	環境センターに温水市民プールの建設を求める請願 (教育環境)	不 採 択	×	×	×	○	×	×	×